

区・町内会アンケート実施結果

1 調査目的

各自治会が抱える諸課題に対し、今後の解決に向けて、現状を把握するため実施。

2 調査対象

市内の区長・町総代 137名

3 調査期間

令和4年1月25日から3月2日まで

4 調査方法

郵送により配付し、回答はWEB入力、郵送、持参のいずれかの方法で回収。

5 回収結果

配付数：137名

回収数：119名

回収率：86.9%

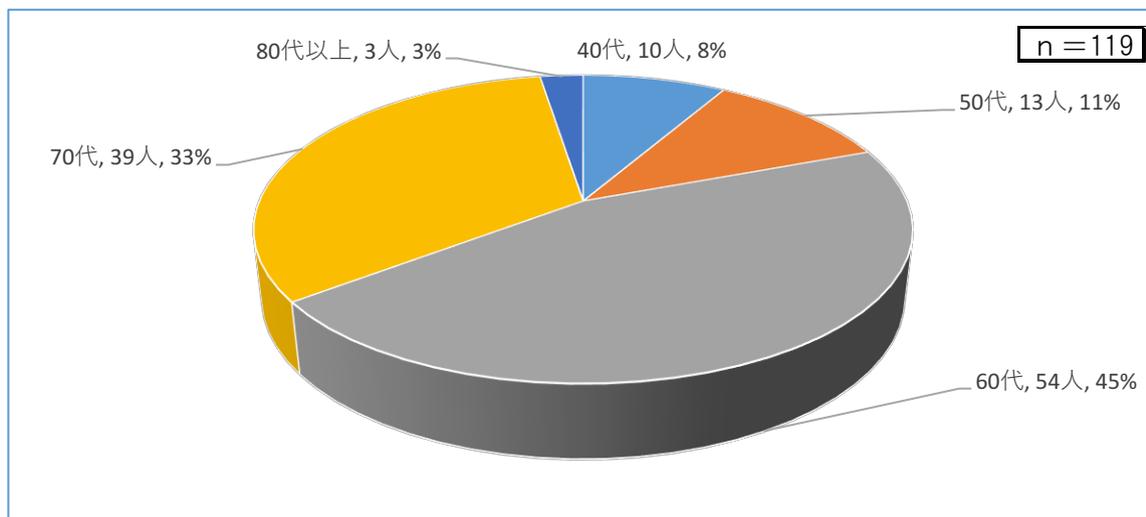
【集計結果に関する補足事項】

- ・割合表示について、端数処理の関係上、合計が100%にならないことがあります。
- ・設問項目は一部内容を省略して掲載しています。
- ・各質問中、「その他」は抜粋した内容を掲載しています。

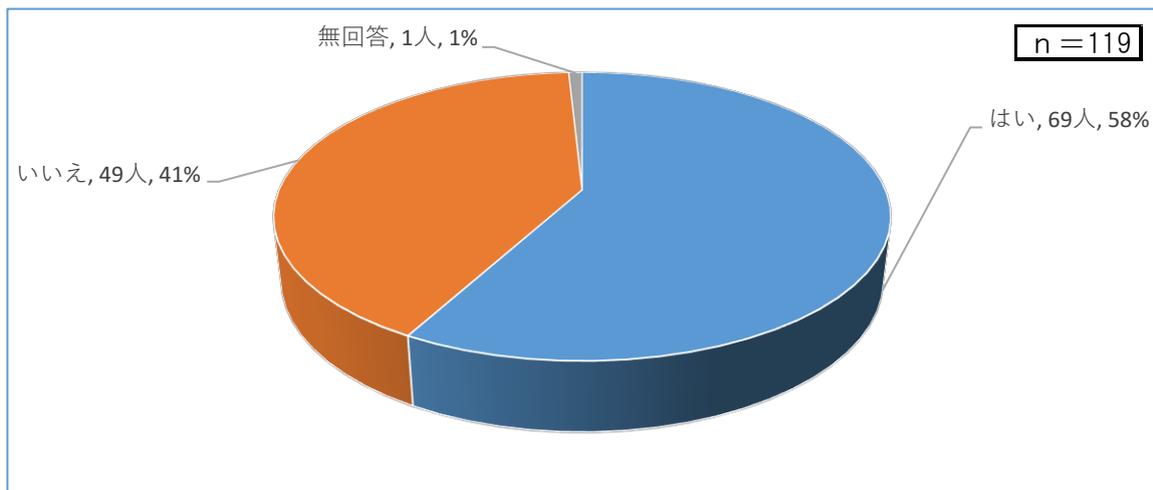
問1. あなたの所属する自治会について教えてください。

⇒ 区、町内会名を回答する設問のため集計データ省略

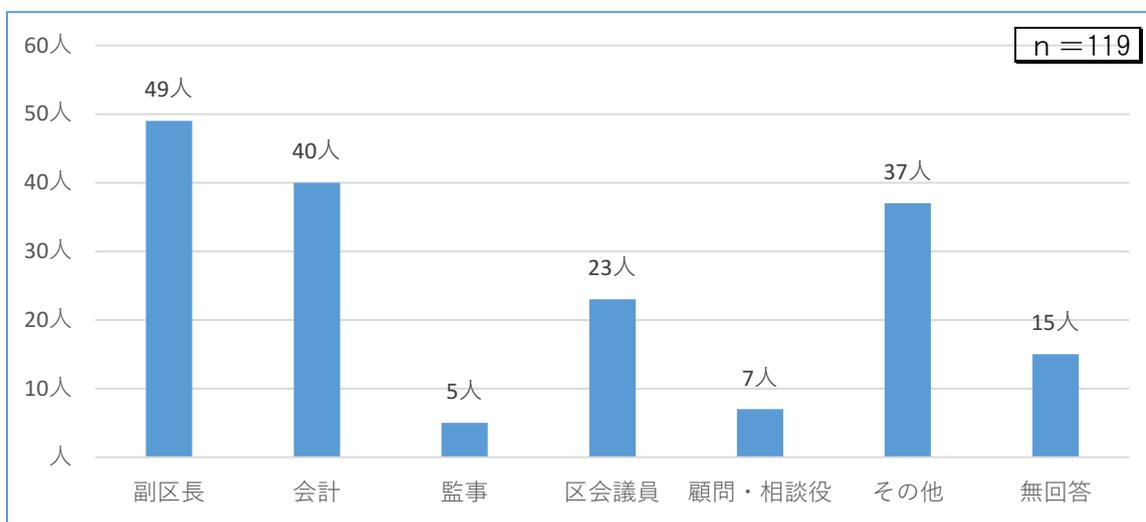
問2. あなたの年齢を教えてください。



問3. あなたは何らかの職業に従事していますか。



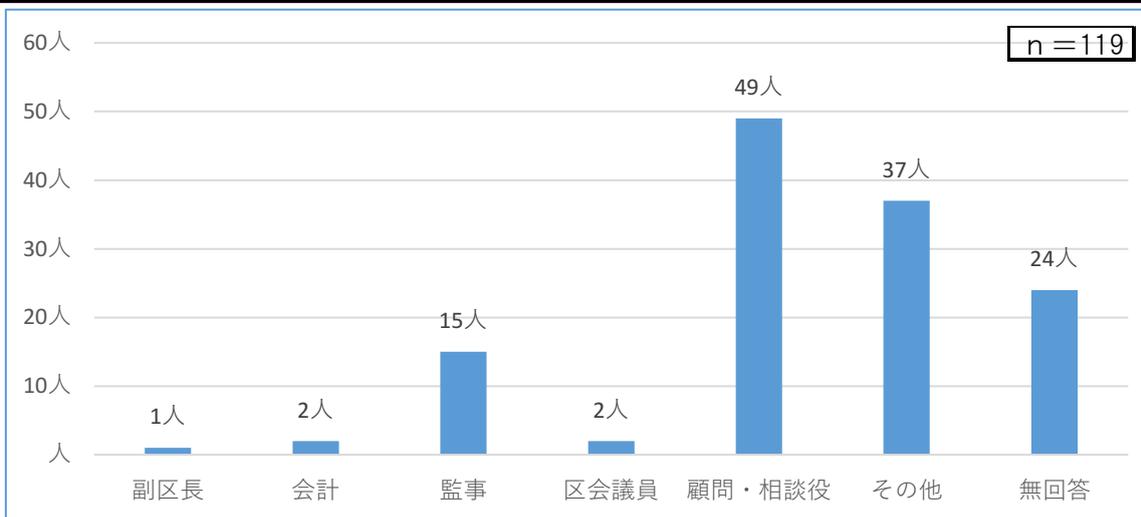
問4. 区長・町総代以外の役員の経験はありますか。（複数回答可）



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 氏子総代
- ・ 評議員
- ・ 班長

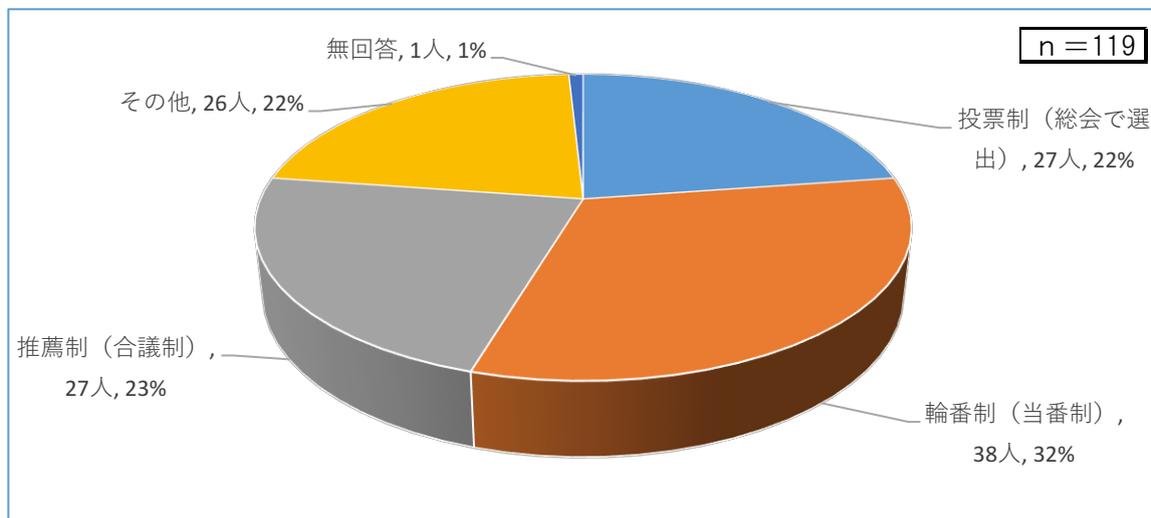
問5. 区長・町総代を退任した後、就任する役員はありますか。（複数回答可）



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 氏子総代
- ・ 評議員
- ・ 会計監査

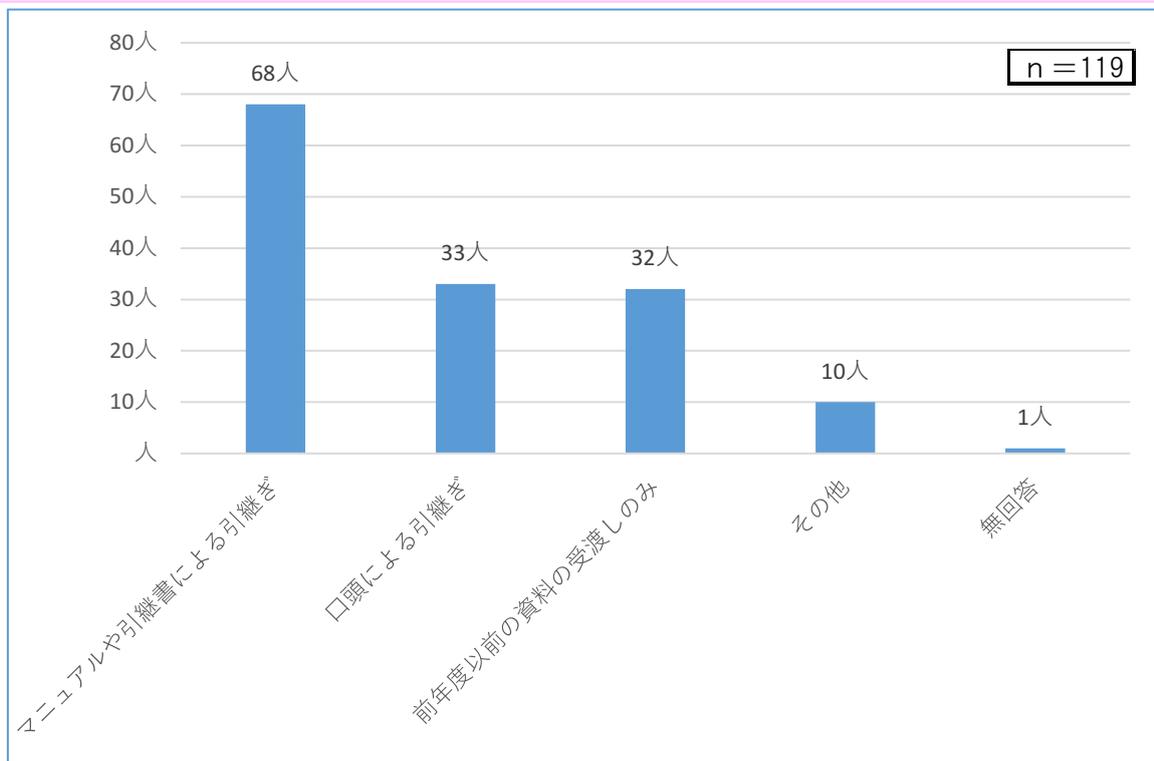
問6. 区長・町総代の選出方法について、教えてください。



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 各組毎の輪番とし、選出方法は各組で様々
- ・ くじにより選出
- ・ 役員間で候補者を定め、お願いする

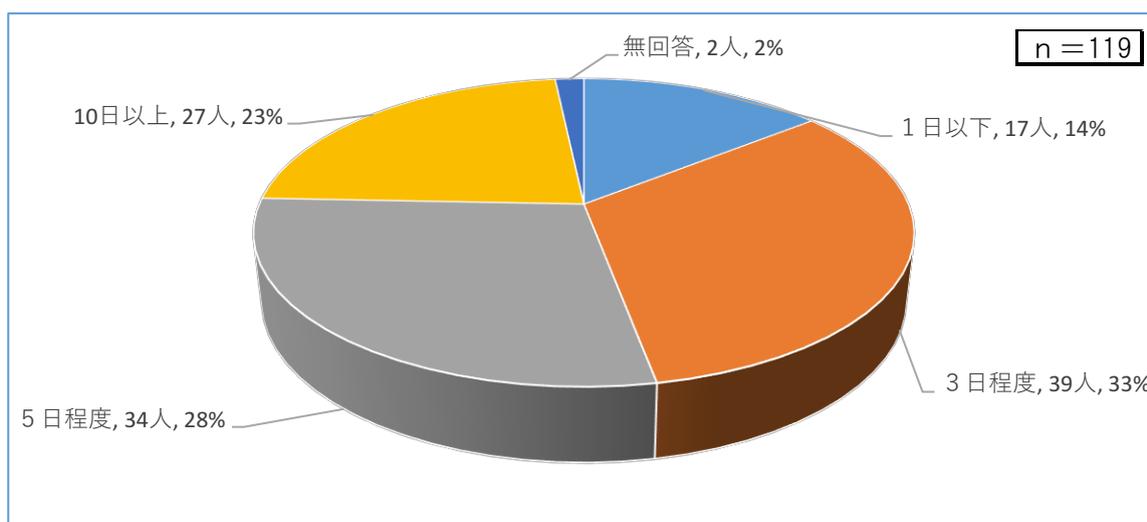
問7. 前任者からの業務の引継ぎはどのような形でありましたか。（複数回答可）



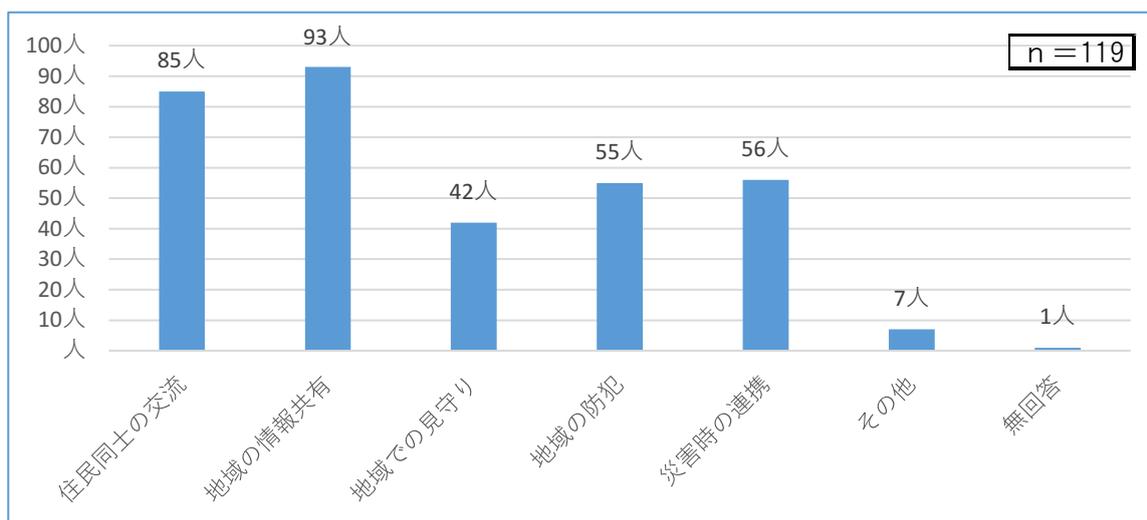
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 前年度に副区長として区長を補佐する形式
- ・ 都度、前任者へ尋ねる

問8. 自治会の活動に月に何日ぐらい従事していますか。



問9. 自治会に加入するメリットは何だと思えますか。（複数回答可）



【その他の回答（抜粋）】

- ・学童の送迎ボランティア
- ・コロナの影響で行事が少なく、あまりメリットを感じない

問10. 自治会運営の中での課題（悩みや困りごと）はどのようなことですか。（複数選択可）

項目	回答数
役員のなり手が少ない	90人
高齢化が進んでいる	87人
住民の自治会への関心が低い	56人
若い世代の参加者が少ない	44人
行事などの参加者が少ない	38人
過去からのしがらみが多い	35人
住民同士のコミュニケーションが不足している	29人
自治会の行事や会議等が多い	22人

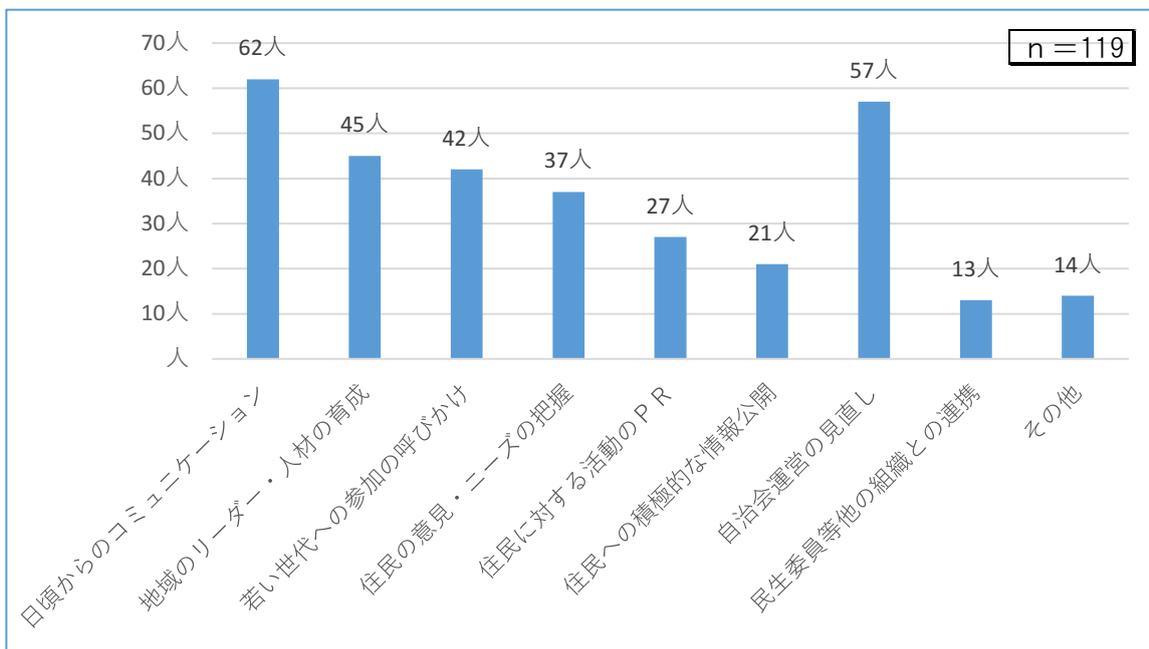
n=119

自治会内の意見の調整が難しい	22人
未加入世帯が増えている	16人
活動費が不足している	12人
活動拠点となる施設（場所）がない	11人
外国人の住民が増えている	8人
その他	23人
無回答	2人

【その他の回答（抜粋）】

- ・ 新築分譲、集合住宅の増加による区民の把握困難
- ・ 拠点施設の老朽化
- ・ 緊急時（コロナ対応など）における情報収集

問11. 課題を解決するために必要だと思うことは何ですか。（複数回答可）



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 役員を増やし責任の分担化を図る
- ・ 過去からの慣例の見直し

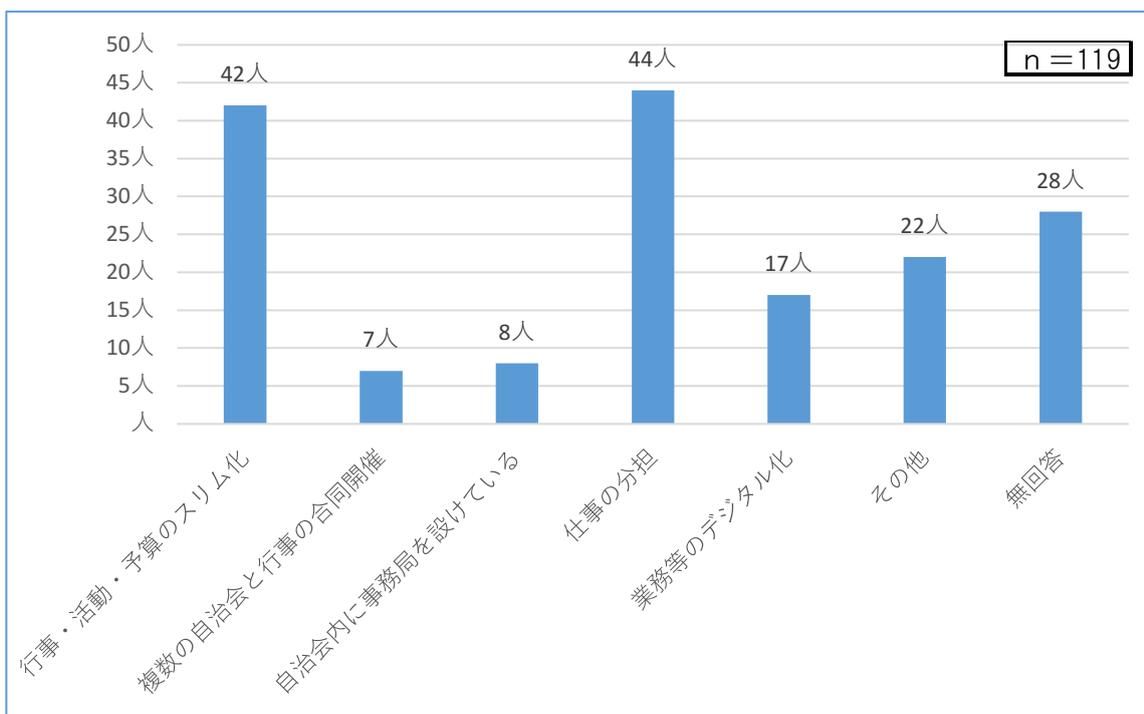
問12. 役員のなり手を確保するためにどのような取り組みを行っていますか。（複数回答可）

項目	回答数
役員未経験者でも対応できるよう、マニュアルや引継書を作成している	51人
特に何もしていない	42人
役員の役割分担を複数人制にして、1人にかかる負担を軽減している	26人
役員を数名ずつ入れ替えることで、継続的な運営体制を確保している	23人
わからないことを役員経験者に相談できるサポート体制を作っている	23人
イベントや業務の見直しをしている	21人
若い世代の活動への参加促進をしている	5人
その他	20人
無回答	2人

【その他の回答（抜粋）】

- ・ 輪番となる長へ、早期にコミュニケーションを図る
- ・ 行事・イベント等の交流を求めるより、防犯灯管理・消火設備・分別ごみ当番の必要性等、町内での生活に関することを、無理なく処理できる範囲でこなすこと、それを町内に伝え理解を得ることが大切
- ・ 役員等の就任周期を定め、順次交代する

問13. 自治会運営の見直しや工夫について、行っている取り組みがあれば、教えてください。（複数回答可）



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 慣例にとらわれず意見を述べ、役員間で相談している
- ・ 回覧板のデジタル化を検討してほしい
- ・ 共通業務を区が行い、町内会毎に事情が異なる業務は町内会が担う方向で模索中（例えば公園管理は二つの町内が行い、申請等のみを区で扱えるようにしている。）

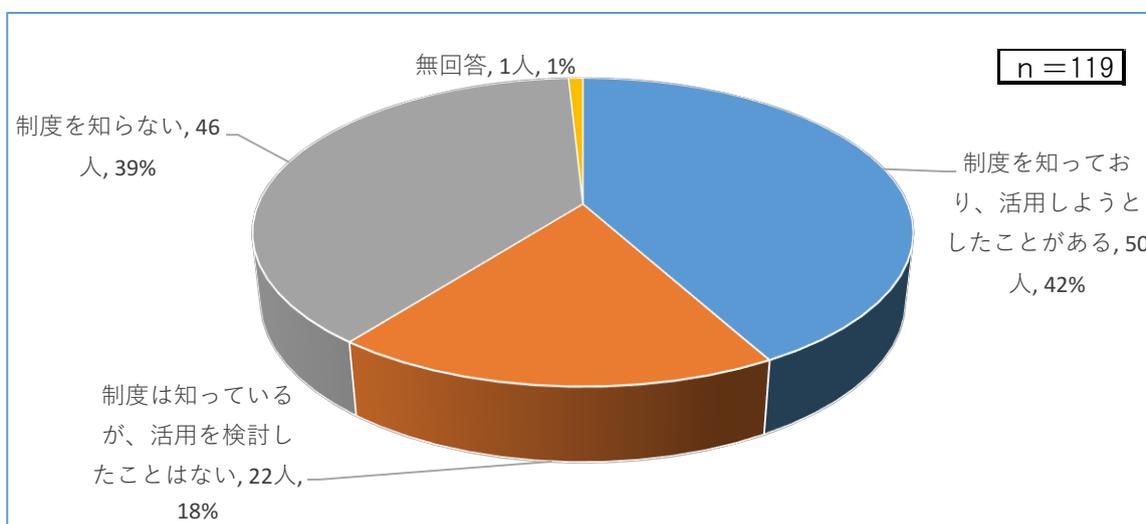
問14. 自治会活動の中で課題（悩みや困りごと）があるものはありますか。（複数選択可）

項目	回答数
環境美化活動（地域内の草刈・清掃、ごみの減量、資源ごみの分別等）	61人
防犯活動（子どもの見守り、地域安全パトロール、防犯灯の管理等）	37人
防災活動（自主防災組織の設置、防災訓練、被害状況の報告、災害時の消毒対応等）	27人
高齢者福祉活動（独居老人宅への声かけ、訪問等）	26人
道路保全活動（道路工事等の要望、道路の不良・危険箇所の報告、側溝清掃等）	23人
スポーツ、レクリエーション等の親睦活動（敬老会、盆踊り、お祭り等）	21人
回覧板や広報紙等の情報伝達活動	19人
集会場等の地域で保有する資産の維持管理	17人
その他	23人
無回答	18人

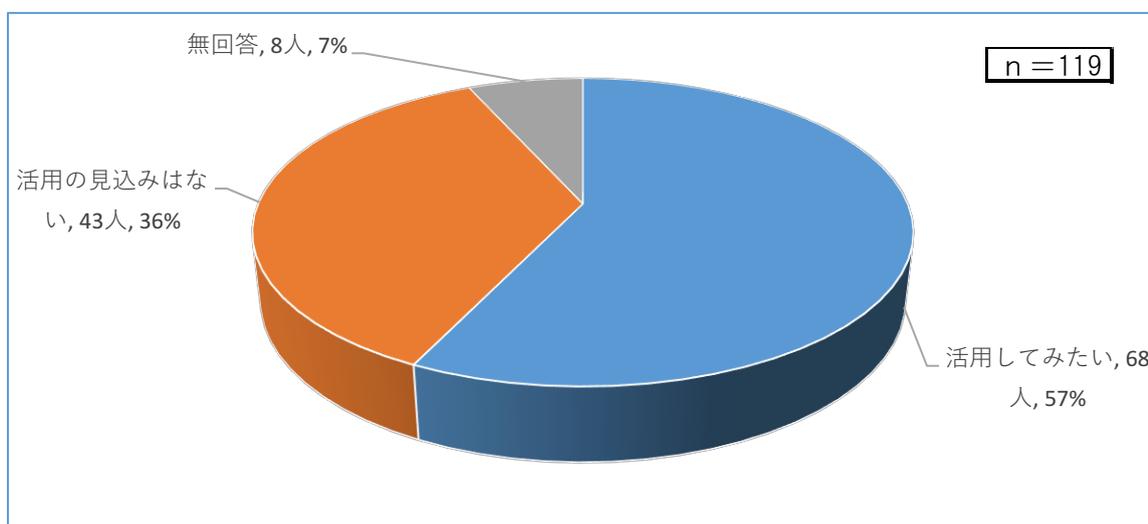
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 区長の業務量の多さ
- ・ 投票立会人を自治会に委託するのはやめてほしい
- ・ 他区域からのゴミの不法投棄への対応
- ・ 資源ごみの収集場所の確保
- ・ 可燃ごみ置場の問題、カラスが可燃ごみを荒らすため衛生問題が出ている
- ・ 通学路の整備
- ・ 町内公園の老朽化遊具撤去にかかる費用の問題
- ・ 昼間勤めに出ている業務ができるようにならないと引き受け手がなくなる
日中に市役所、業者から連絡が入らないような方法の構築が必要
- ・ 市役所からの電話がどこの課から分かるようにしてほしい
- ・ 災害時の住民把握困難
- ・ コロナ禍における行事の中止

問15. 「江南市まちづくり懇談会」制度について



問16. 「江南市まちづくり懇談会」制度の今後の活用について



※ 問16で江南市まちづくり懇談会制度を「活用してみたい」を選択された方のみ回答
問17. どのようなテーマの話し合いで活用してみたいと思いますか。
(複数選択可) n = 68

項目	回答数
防災活動（自主防災組織の設置、防災訓練、被害状況の報告、災害時の消毒対応等）	22人
環境美化活動（地域内の草刈・清掃、ごみの減量、資源ごみの分別等）	22人
防犯活動（子どもの見守り、地域安全パトロール、防犯灯の管理等）	17人
高齢者福祉活動（独居老人宅への声かけ、訪問等）	12人
道路保全活動（道路工事等の要望、道路の不良・危険箇所の報告、側溝清掃等）	10人
スポーツ、レクリエーション等の親睦活動（敬老会、盆踊り、お祭り等）	7人
回覧板や広報紙等の情報伝達活動	6人
集会場等の地域で保有する資産の維持管理	5人
その他	3人

【その他の回答（抜粋）】

- ・可燃ごみ置き場の問題（鳥による害など）

※ 問16で江南市まちづくり懇談会制度を「活用の見込みはない」を選択された方のみ回答
問18. 活用しない理由について、教えてください。
(複数選択可) n = 43

項目	回答数
市への相談が必要な内容は、市の担当課に直接相談をした方が早いから	41人
地域の問題・課題などにテーマを絞った話し合いは、実施していないから	24人
活用するための手続きや調整が煩わしいから	16人
地域の話し合いの場で、市の助言等を必要とすることはあまりないから	13人
その他	11人

【その他の回答（抜粋）】

- ・区民の参加が見込めない、開催場所がない 等
- ・まず区の事務所に相談する

問19. 課題解決に対し、市からどのような支援が必要だと考えますか。
(複数回答可) n = 119

項目	回答数
先進的な事例の情報提供（他自治会の事例紹介等）	39人
市との連絡手段、相談・申請手法の拡充（電子メールでの対応等）	34人
市窓口での個別相談・アドバイス	33人
自治会加入促進のための啓発（転入者への加入の働きかけ等）	30人
自治会運営・活動のスリム化（デジタル活用等）に関する講座等の開催	23人
市職員の地域の話し合いの場への参加（江南市まちづくり懇談会等）	19人
先進自治会の紹介（課題解決に向けた他自治会とのマッチング）	17人
特に支援は必要ない	17人
他の自治会との交流の場の提供（講座等開催による交流機会の提供）	15人
会議、イベント等の開催場所の提供	12人
自治会活動の企画立案、人材確保に関する講座等の開催	10人
NPO・ボランティア団体、企業等の紹介（課題解決に向けたマッチング）	10人
自治会広報・チラシ作成に関する講座等の開催	8人
その他	3人
無回答	19人

【その他の回答（抜粋）】

- ・区費支払拒否への対応
- ・資源ごみ回収に立ち会う役員の負担軽減のため、住民にも理解してもらうことを目的として環境課の職員の話住民に聞いてもらいたい
- ・デジタル対応が困難な住民に対し、市はどのような支援ができるのか
端末の提供、保有補助、活用支援など（個人端末の使用を拒否する方もある）

問20. (自治会活動のデジタル活用について) 情報発信や業務の効率化などのために、貴自治会ですでに導入しているものがあれば、教えてください。(複数回答可)

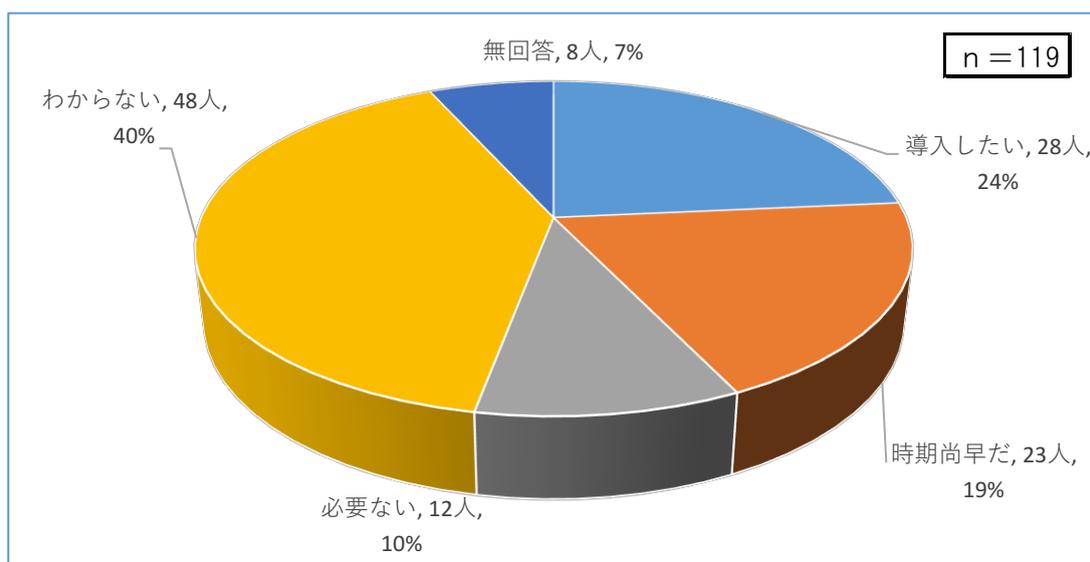
項目	回答数
電子メール（役員のみ）	22人
LINE（役員のみ）	18人
ホームページ	4人
フェイスブック	0人
ツイッター	0人
インスタグラム	0人
電子メール（住民あて）	0人
LINE（住民あて）	0人
オンライン会議	0人
その他	31人
無回答	56人

n = 119

【その他の回答（抜粋）】

- ・電話連絡
- ・回覧板をpdfファイル化し、クラウド上にアップロード

問21. 自治会内の情報共有等に用いるアプリケーションの導入について



問22. 工夫している取り組みの内容、その他の意見、提案など（自由意見欄）

⇒ 次頁以下一覧を参照してください。

問22. 工夫している取り組みの内容、その他の意見、提案（問14の項目に沿って内容を大別）	
防犯活動	
防犯灯の設置が遅れている、早期に行って欲しい。	
防災活動	
防災無線の放送が聞き取りにくい。	
高齢者福祉活動	
高齢化に伴う独居老人世帯が多くなり、その人々に対する見守り体制が不十分で、充実が望まれる。	
環境美化活動	
資源ごみの立ち合いに関して、月2回程度の資源ごみ回収を地区でなくて学校の校区内に2～3ヵ所のリサイクルステーションか環境センターのような設備を作ってそこで週2～3日（一日は土日）で民間委託して受入すれば良いと思う。土地は各地区の耕作放棄地を安価で借入れるか無償提供してもらえば良いのではないかと思います。（耕作放棄地の解消にもつながる）	
不燃ごみの出し方を今後変えていただかないと当番制には無理がある。	
防鳥カゴについては早々に対応したいが、市に相談しても様々なルールを前に了承してもらえない。また、ゴミが散乱し衛生問題が出ているという報告を受けたら市としてしっかりと対応してほしい。	
ごみの立ち当番を変えていただきたい。古くからの方はコミュニケーションと言うが、有休を取ってまで負担する事ではないと思う。リサイクルセンターも全部の分類ごみを出せるようにしてもらえると助かる。	
資源ごみの業務は業者等へ委託して欲しい。	
道路保全活動	
道路の舗装が遅れている、早期に行って欲しい。	
道路の補修が明らかに不足している。	
親睦活動	
市が色んな町から聞き取りをして、祭礼行事や市全体で行われる行事をマニュアル化したらどうか。	
回覧板や広報紙等の情報伝達活動	
広報の電子版をWEB上で公開し、配布不要な世帯の印刷コスト削減、ポスターもWEB等での配信・啓蒙の方が若い世代に浸透すると思う。自治体運営だけでなく江南市業務全体のデジタル化が他市より非常に遅れている。高齢者の事も考慮しつつ、改善できる点は積極的にスピード感を持って、推進してほしい。	
広報の配布を業者委託には出来ないか。	
広報の配布が重荷になっている。同じ内容のPDFが江南市のHPからダウンロードできるのでインターネットが利用できる家への配布をやめてはどうか。	
回覧板は情報が伝わるスピードが遅くなる。人によっては不在で止まってしまうたり、スムーズに回っても1週間～2週間かかる。電子化する方法を市から提案してほしい。	
その他（1. 自治会運営に関する内容）	
ア. 役員のみ手不足・業務の負担について	
区長の業務量が多く多忙。	
当自治会でも区長選任に非常に苦労している。区長が全ての行事に率先垂範する体制がネックになっていると思う。	
自治会内の問題は全て会長に押しつける習慣がある。	
自治会長以外の役員は名前だけで全く仕事をしない。会長は孤独。	
就任時は区の長年の課題「副区長（次年度区長）選出のルールづくり、区運営の継続性等」の必要性を感じていたが、来年度の役員が決まり、行事が消化されて来ている現状に安堵している。ただ、今年度はたまたま副区長選出が順当に行われたが、来年度以降苦労することが想像できる。	
負担が大きく家族の協力なしではできない。	
区民の高齢化、少子化が進み区会議員の担い手が年々不足している。区会議員も現役社員が大半を占め 日にち、時間に制約があるため、区活動、区行事が、一部の役員に負担が掛かっている。	
当自治会は区長が神社の氏子総代を兼ねるため、区長が行事等に費やす時間が多い。	
当自治会は、発足から年数が浅いため、会員の平均年齢も低く、また共働き世帯も多く、平日に実施される区や町内会行事へ参加することは困難であるため、役員のみ手も少ない状況である。	
よくわからない引き継ぎ書類が多すぎる。	

あまりにも多くの業務があり、今後定年延長や高齢化に伴い、役員の担い手が変化していくことが想定され、業務のあり方や実施方法の改定が喫緊の課題。
戸数の多寡にかかわらず輪番という制度の為、区長選出の負担は大きく、今後も選出が継続できるのか、非常に危惧している。
65才以上の4人に1人が仕事をしている状況であり、アルバイトや非常勤を加えると自治会を担う人が少ない。 従来のような自治会活動は見直し、最低限の活動（回覧板、資源ごみ回収）に留めないと、だれも役員など引き受けられない。
区長や他の役員を選ぶよい方法を知りたい。
毎年、町総代等役員が決まらず困っている。
役員になる人が2～3年前から決まっていると安心。
新しく区会議員やってくれる人がいなくて困っている。特に三役はやってもらえない。将来人がいなくて、区そのものがなくなりそうである。資源ゴミや防犯パトロールなどおまつり、盆おどりなど、できなくなってしまうが、役所として、どのように対処してもらえるのか。
イ. 自治会運営のあり方について
自治会運営（町総代会含む）が、コロナ禍を想定した対応ができていない。コロナ禍でも町総代会に何十人も集合するのはクラスターの危険がある。若い世代の方も多いため、WEB参加できる体制を整えるべきだと思う。
町費・区費等の集金について、小銭→紙幣の変換が金融機関で有料化となり困っている。
自治会ありきではなく、各家庭の事情を優先すべきと思う。町内会に入るメリットがないなどの意見が大きくなった場合は、解散することも含めて根本的に考え直す必要があると思う。
自治会のあり方は、根本的に見直すべき。余裕のない地区では自治会自体が大きな問題。
休日の夜の集会は午前中に変更するなどしてほしい。
諸行事の実施方法が過去から見直されることなく、今までと同じように行われており、時代に合致しない行事が継続して行われている部分もあると感じる。平日に実施される区や町内会行事への参加は、困難であると思う。
祭りをやりたい人はどのくらいいるのか。個人としてはあまり必要性を感じない。好きな人はいると思うが、私は役員でなければ出ない。また、資源ごみの時間を守らない人があり、声かけしても守ってもらえないと悲しくなる。
コロナ禍で祭りや総会等の自粛をしたが、特に問題もなく再開する必要があるのか検討すべきと思う。
現在は、コロナ禍のため約9割の活動休止が2年間続いたので、区の業務運営が分からず心配である。
地域コミュニティも、昔とはライフスタイルが違おうと思うので時代に合った活動にした方がよい。
ウ. 自治会への住民の関心の低下について
町内会活動への住民の関心が薄れてきている。
当自治会は母子家庭、弱者、高齢者、外国人の方の比率が高く、生活に手いっぱい自治会活動に関心、参加が難しいように見受けられる。
町内会の役から逃れるため退会する世帯が多い。
エ. 自治会住民の世代構成等の変化について
世帯数が少なくなり活動に支障ができてきているので、自治会の統廃合をしてほしい。
人数が少ない組織については、再編成を考えた方がよいと思う。
高齢化が進み、自治活動ができる人々が少なくなった気がする。
デジタル化の改革が進む時代の中、区の役員加入者の高齢化が進み、高齢者に対して技術能力を身に付けてもらうことが難しい。
高齢・若年世代の所帯と二分しており、仕事を休んで対応するような若手層への地域割合の分担が難しくなっている。
オ. 自治会におけるコミュニケーション上の課題について
デジタル活用はしない方がよい。直接コミュニケーションを行う。

若い区長などでは、昔からいる人達に気を遣い簡単に町内規約を変えることができない。
年配者が多い組織であると、若い世代から意見を発信することがはばかられ、前に進めない状況にあると感じる。若い世代の意見が理解され、受け入れられ、反映されるような住みやすい街になってほしい。
歴史が浅い自治会のため運営について手探り状態となっている。 また、共働き世帯が多く自治会対応のために時間を作る人が少ない。他の自治会役員との年齢差もあり、コミュニケーションが難しい。この様な課題をどう解決し自治会運営に反映させていくのか市を含めて考えてほしい。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベントの中止により区民同士のコミュニケーションアップが取りづらくなった。
年配者からの意見や対応が多くあった。年配者である為、デジタル化もできなかった。
コロナ禍で行事や会議が中止になり、皆さんとコミュニケーションが取れず残念だ。
高齢者はパソコンが使えず、電話での連絡だけになってしまう。
カ. 自治会において工夫している取組について
避難行動要支援者登録名簿は町内役員で共有するため役員総会資料で情報提供している。
毎月一回会議の開催をする事
コミュニケーションを行う。
市へ直接相談する。
来年度の区長さんが分かりやすいような資料を作成し、丁寧に引継ぎを行いたい。
当自治会は、市の中では世帯数が少なく運営が楽なほうかもしれないが、近年古くからの住民の高齢化、核家族化、そして共働き、定年後の働き方等の変化等により、各種団体のつながりの減少、何よりも、区長・会計等の役員のみ手がないことが最大の悩みであるが、働いていても、女性でも、役員を引き受けられるようにと、市役所に極力出向かなくてもいいように、メール等でのやりとりをお願いしている。
令和4年度より区長選出は、立候補者があれば役員会で決定。無い場合は令和3年度副区長から役員による選挙で選出とした。
事務用機器の導入（個人のパソコン・プリンター使用の廃止）
区の電子データの整理整頓（P・C管理委員会の創設）
区の会計業務の改良（Excelのみで会計業務を自動化）
区の各役職のマニュアル作成と使用（電子データと製本）
区会議の効率化（会議方法の変更）
各役職での個人負担の軽減
現在体操クラブ、卓球クラブ、グラウンドゴルフ等運営している。健康面で良い感想をいただく。
コロナ禍で2年間、様々な行事が中止となり地域コミュニティを深め自治会活動に参加してもらう機会が減った。その中で、自治会の活動と役割を理解してもらうために定期的に広報紙を発行し、全戸に届けている。
役員になった時から、ボランティアとして分別ごみ当日集積所の立合いを行って、ゴミ出し指導を続けている。（長い人だと20年近くの人もいる）
区会議員、町総代、区民よりの困りごと、相談などがないかどうか集会ごとに声かけをする。
災害時に使用する防災米や水等を配布し、防災意識を高める。
区民からの質問、相談、要望については、できるだけスピード感をもって対応している。
引継ぎは過去の資料がパソコンに保存してある。
当自治会は、区長の選出は選挙にて1年目は副区長（会計）翌年に、区長・顧問と各1年間の任期である。
その他（2. 行政全般へのご意見・ご要望）
事務局設置への助成
自治会は大小様々、地域に対する考え方付き合い方も様々だが、市の考え方は画一的でなかなか相談しづらいのではないかと。
アンケートで問われていることに異論はないが、町内に公園はない、集会場など活動拠点など到底持てない（土地・資金などない）町内会に、江南市は何を求めてまちづくりをしているのか分からない。問19に書かれている支援を考える組織的なレベルなどではないと思うし、多くの活動を求めることが今の町内会に課題をもたらしているとも思う。
募金及び協力金の戸別集金は強制のように見えるので、違う方法を考慮して欲しい。

こういったアンケートは恒例なのか。アンケート集計結果から自治会支援はいつぐらいを目途に進めていく予定なのか。

本来行政で取り組まなければならないような事案を協働の下に自治会に委ねられており、また諸々の活動も多々あり、ボランティアに名を借りて区長や区役員として取り組むことには既に限界を感じていて、これは正に無報酬の強制労働に値すると私自身は考えている。
このためか、近年役員に応じる方は皆無に等しく、毎年区長を始め区の役員が頭を悩ませている。行政から専属の担当者を派遣する、区役員への報酬提供など、もっと実務的なアイデアもどんどん出されないと、自治会組織はいずれ崩壊するのではと懸念している。

当自治会では入区の際に世帯票を出していただいているが、その更新がなかなか難しい。区長会で配布された資料の最後に「会員名簿を作るときの注意事項」があり、その内容は十分理解できるが、実際に更新したいときにどうしたらいいのか分からない。具体的な通知文などの例文を江南市として作成してほしい。
いざ災害等が起こった時、その世帯票はとても重要で、区長として全世界帯を把握することは運営上大切だと思っている。

住民の一部には、近隣トラブルや無理な相談を持ち込む者もあり、役員に過度な負担を強いるケースもある。昔のように村の長老や区長の意見に従うといった「美風」廃れた今日において、行政が過度な期待を自治会に求められることは無理だと思う。

この一年区長を勤め、市の関係課の担当者に協力いただき感謝している。

当自治会では子供さんが少ないため昨年度から子供会を休止している。江南市南部地区は過疎化が進み空き家が多いように思う。また、防災の面でも心配している。

自治会活動活性化のため自治会の在り方をもう一度考えてほしい。

(参考) 東京都武蔵野市の施策

広報・回覧板の廃止、ごみの各戸収集

財政的な観点だけでなく、地域のコミュニティの崩壊を防ぐ意味で考え直していただきたいと思う。自治会長が、市の下請け仕事に忙殺されることなく、住んでよかったという地域づくりに邁進できるように力を貸していただきたい。

アンケート項目が少し多い。

- ・空家の処遇
- ・田畑の放棄地への対応

- ・江南市からの各種申請書類の簡素化が必要（返信用封筒等の配慮不足もあった）。
- ・買い物等へのアクセス不足があり、巡回バス等の確保を切望する。
- ・コロナ禍でやむを得ない面があるが、区民の日常生活において文化的な要件が喪失しており、今後ある程度収束した場合、江南市として文化的事業や催し物を企画する必要があると考える。